情報公開文書
作成日：　2024 年　1 月　20 日

患者様各位
決定木分析を用いた急性期脳卒中患者の
トイレ動作の影響に関する研究に関するお知らせ

研究の背景
リハビリテーション療法士と医師、病棟看護師らの多職種連携によるトイレ動作自立への関わりは、日常生活動作および生活の質の向上、対象者の尊厳を守るうえで重要な関りになってきています。また、脳卒中患者において排泄動作、排泄管理は転帰時の機能的予後に影響を及ぼす重要な因子であり、トイレ動作の自立は自宅復帰にとって不可欠な課題です。

研究の目的
この研究は急性期脳卒中患者様のトイレ動作に影響を及ぼす因子を検討し、急性期脳卒中患者の予後予測や多職種連携、患者および家族指導の情報に役立てることを目的としています。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間
対象者：期間内に当院入院されリハビリテーション介入した脳卒中患者様
期間：2019 年 1 月～2022 年 12 月

研究に際し行うこと
研究のための特別な検査・投薬・治療等はありません。通常のリハビリテーションを継続し、その際の日常生活動作データを収集し、解析することで、最適な治療の方向性を見出します。

研究に伴う患者様の負担・不利益
通常のリハビリテーションを行うだけなので、研究のための患者様の金銭的負担は一切ありません。また研究のための検査や投薬は一切行いません。研究を行うことで生ずる副作用等の増加はありません。

患者様の人権擁護
患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

ご不明な点は、リハビリテーション療法士または下記までお尋ねください。
皆様のご協力に感謝致します。

連絡先
社会医療法人友愛会　友愛医療センター
リハビリテーション科　横江　昭宏
電話：（代表）098-850-3811